

東北地方 3か月予報

(8月から10月までの天候見通し)

平成20年7月24日
仙台管区気象台発表

<予想される向こう3か月の天候>

向こう3か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。
気温は、高い確率が50%です。

8月 東北地方は平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
気温は、平年並または高い確率がともに40%です。

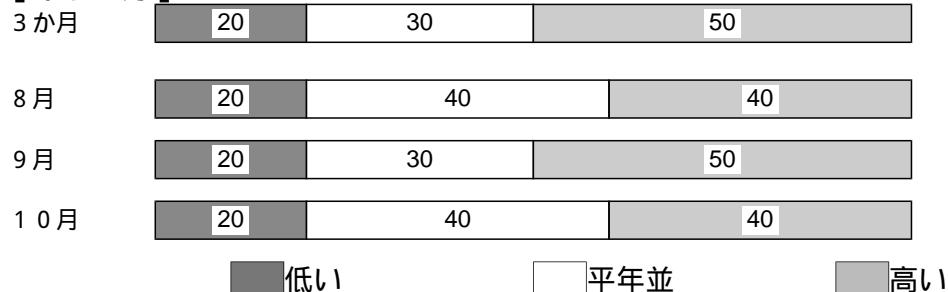
9月 東北地方は平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。
気温は、高い確率が50%です。

10月 東北日本海側は平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
気温は、平年並または高い確率がともに40%です。

<向こう3か月の気温、降水量の各階級の確率(%)>

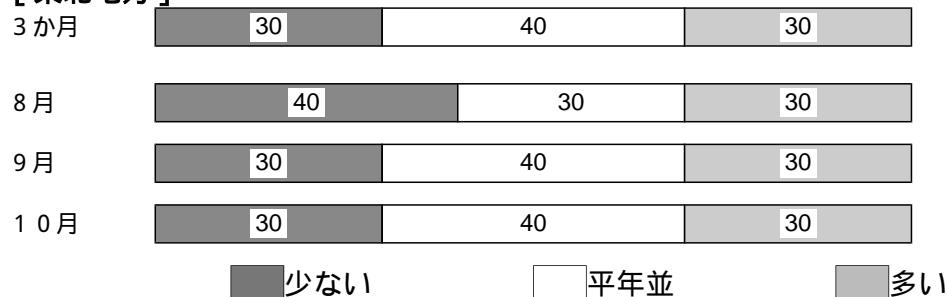
<<気温>>

[東北地方]



<<降水量>>

[東北地方]



<次回発表予定等>

1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は7月25日

3か月予報：8月25日(月) 14時

8月の予報については、新しい資料による次回以降の1か月予報を適宜ご利用ください。

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 平年値(月・3か月平均気温、降水量、日照時間)

	気温()				降水量(mm)				日照時間(時間)			
	8月	9月	10月	8月～10月	8月	9月	10月	8月～10月	8月	9月	10月	8月～10月
青森	23.0	18.9	12.6	18.2	129.3	119.8	106.0	355.1	190.8	160.0	152.9	503.7
深浦	23.1	19.1	13.3	18.5	157.4	176.0	165.6	499.0	185.9	155.4	135.3	476.6
むつ	21.7	18.0	12.2	17.3	140.4	172.7	115.4	428.5	152.8	144.4	159.9	457.2
八戸	22.3	18.6	12.7	17.9	139.8	167.7	77.0	384.5	173.3	144.1	163.1	480.5
秋田	24.5	19.9	13.6	19.3	181.9	177.9	160.7	520.5	200.4	154.9	148.1	503.4
盛岡	23.2	18.3	11.8	17.8	177.8	157.5	97.8	433.1	158.8	123.7	149.0	431.5
大船渡	23.0	19.3	13.8	18.7	198.6	218.7	142.3	559.6	161.5	119.1	146.9	427.6
宮古	22.2	18.6	13.1	18.0	180.8	229.4	105.7	515.8	165.2	123.0	155.8	444.0
仙台	24.1	20.4	14.8	19.8	174.2	218.4	99.2	491.7	155.4	119.8	151.8	427.0
石巻	23.5	19.9	14.2	19.2	127.0	163.1	104.1	394.2	178.1	134.0	159.7	471.7
山形	24.6	19.7	13.2	19.2	148.8	134.3	76.0	359.0	184.7	125.6	131.1	441.4
新庄	23.9	19.0	12.3	18.4	174.5	153.0	151.9	479.3	177.5	112.3	103.6	393.5
酒田	24.9	20.5	14.7	20.0	175.8	185.4	173.7	535.0	211.6	149.6	143.1	504.3
福島	25.2	20.7	14.8	20.2	144.3	169.2	95.3	408.8	159.7	112.6	139.3	411.7
若松	24.8	19.9	13.2	19.3	131.0	134.0	77.6	342.5	199.5	125.2	119.9	444.6
白河	23.3	19.1	13.2	18.5	228.2	215.9	111.9	556.1	154.0	111.3	144.2	409.5
小名浜	23.9	21.3	16.1	20.4	141.7	205.8	153.1	500.6	193.9	135.5	155.3	484.7

欠測により平年値を求めるための資料年数(観測値のある年数)が各月毎に異なることなどにより、3か月平年値等が各月の平年値から求めた値と一致しないことがあります。

(2) 1971～2000年のデータに基づいたこの予報期間の地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

要素	予報対象地域	8月	9月	10月	8月～10月
気温平年差()	東北地方	-0.3～+0.6	-0.5～+0.2	-0.6～+0.3	-0.3～+0.3
	東北日本海側	-0.5～+0.5	-0.5～+0.3	-0.6～+0.4	-0.2～+0.2
	東北太平洋側	-0.3～+0.5	-0.4～+0.3	-0.4～+0.3	-0.3～+0.4
降水量平年比(%)	東北地方	73～117	86～110	83～105	91～109
	東北日本海側	74～107	83～108	88～107	89～104
	東北太平洋側	67～120	87～112	63～113	88～115
日照時間平年比(%)	東北地方	90～109	97～106	97～103	94～105
	東北日本海側	94～112	99～108	97～101	94～105
	東北太平洋側	87～109	97～106	99～106	95～106

(4) 接近する台風の平年値

	8月	9月	10月
東北地方	0.7	0.8	0.3

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971～2000年の30年間ににおける各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。

東北地方 3か月予報解説資料（8～10月）

平成20年7月24日 仙台管区気象台

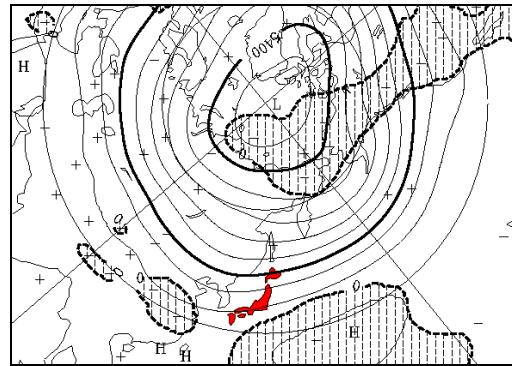
1. 向こう3か月の確率予報の特徴

	気温	降水量
8～10月	高い確率が50%	各階級の確率の偏りは小さい
8月：	平年並または高い確率とともに40%	各階級の確率の偏りは小さい
9月：	高い確率が50%	各階級の確率の偏りは小さい
10月：	平年並または高い確率とともに40%	各階級の確率の偏りは小さい

2. 数値予報（アンサンブル予報）による大気の流れの予想

3か月平均の500hPa高度と偏差の予想図（右図）：

予想図では、日本の南東海上に負偏差（平年より高度が低く、一般に寒気に対応）が広がるが、日本を含む中緯度帯や高緯度帯は広く正偏差（平年より高度が高く、暖気に対応）におおわれる。3か月平均気温は高めの傾向が予想される。



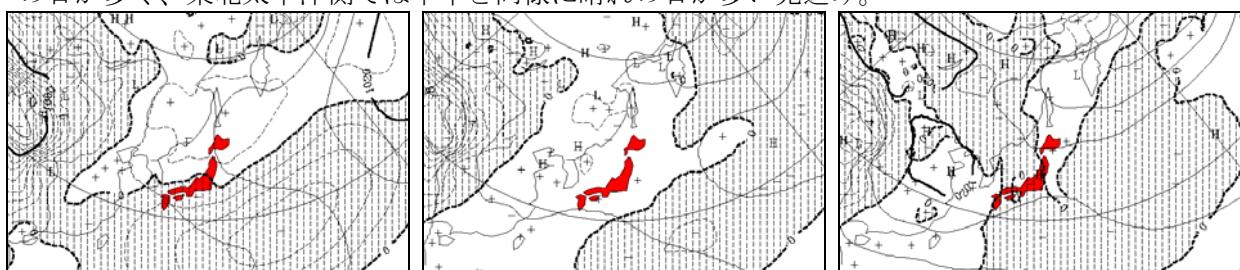
3か月平均の500hPa高度と偏差の予想図
実線は等高度線60m毎、点線は偏差30m毎
陰影部は負偏差（一般に寒気に対応）

月別の地上気圧と偏差の予想図（下図）：

8月：日本の南東海上に負偏差が広がるが、日本の北は帶状に正偏差となる。東北地方は太平洋高気圧におおわれ平年と同様に晴れの日が多いが、オホーツク海高気圧や寒気の影響で一時天気がぐずつく見込み。

9月：日本の南東海上に負偏差が広がるが、日本付近は正偏差となる。太平洋高気圧が日本付近で平年より強い予想。東北地方の天気は数日の周期で変わり、平年と同様に曇りや雨の日が多い見込み。

10月：日本の南東海上や東海上に負偏差が広がる。日本付近の偏差は小さい。低気圧と高気圧が交互に通過し、東北地方の天気は数日の周期で変わり、東北日本海側では平年と同様に曇りや雨の日が多く、東北太平洋側では平年と同様に晴れの日が多い見込み。



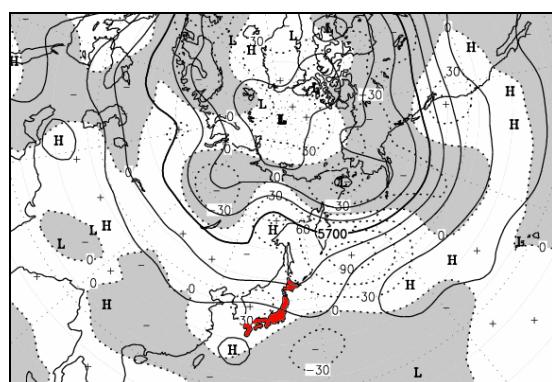
月別の地上気圧と偏差の予想図（左から8月、9月、10月）

実線は等圧線4hPa毎、点線は偏差1hPa毎、陰影部は負偏差

3. 今月の循環場の特徴

7月(20日まで)：500hPa高度では、カムチャツカ半島の南東海上を中心に、北緯50度から60度帯が正偏差となり、日本付近も正偏差におおわれた。一方、日本の南東海上は負偏差となり、亜熱帯高気圧は日本の南東海上を中心に弱かった。

日本の東海上で高気圧が強く、平年より北に偏つて日本付近に張り出し、また、オホーツク海高気圧がほとんど出現しなかつたため、東北地方は高温で経過した。

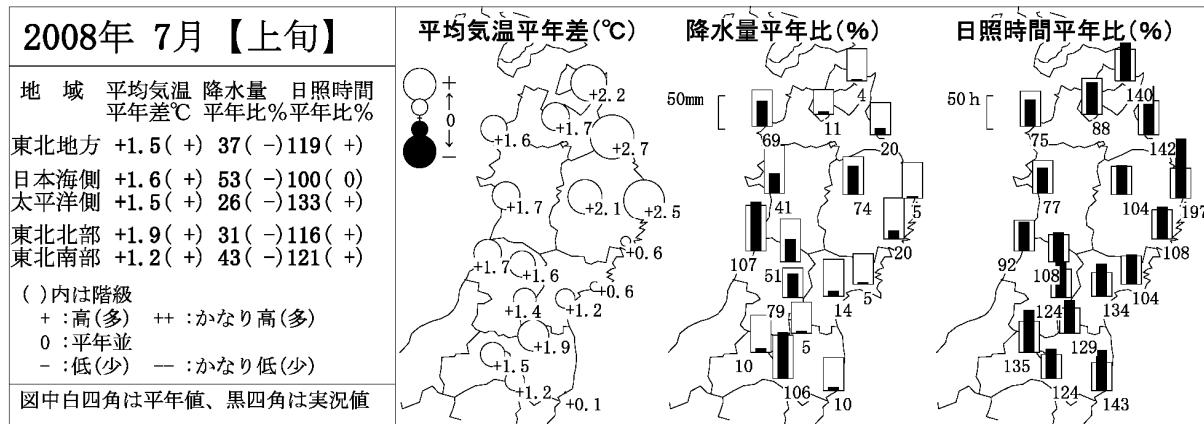


7月1日～20日の平均500hPa高度
実線は等高度線60m毎、点線は偏差30m毎、陰影部は負偏差

4. 最近の天候経過

7月上旬：3日から4日にかけてと7日に低気圧や上空の気圧の谷の影響で雨となった他は、低気圧や梅雨前線の影響は弱く、高気圧におおわれ晴れの日が多かった。

平均気温は東北地方で高い。降水量は東北地方で少ない。日照時間は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で多い。

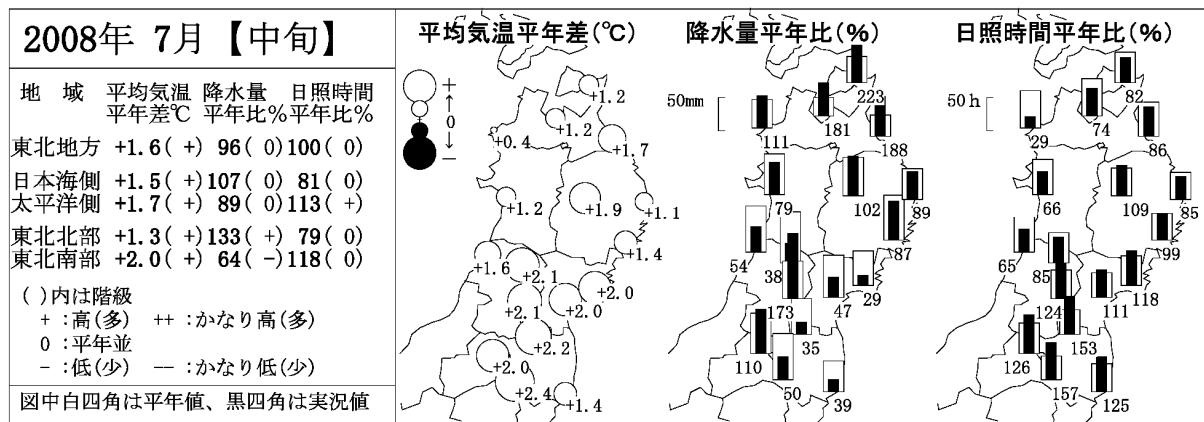


東北地方における7月上旬の平均気温、降水量、日照時間平年差（比）

7月中旬：日本海を東北東進した低気圧や前線の影響により曇りや雨となる日が多くなったが、東北太平洋側の南部では影響が小さかった。

なお、東北南部、東北北部ともに19日頃梅雨明けしたとみられる。

平均気温は東北地方で高い。降水量は東北北部で多く、東北南部で少ない。日照時間は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で多い。

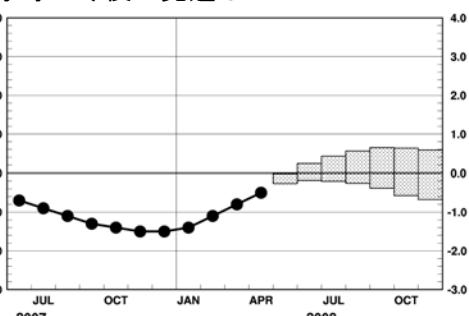


東北地方における7月中旬の平均気温、降水量、日照時間平年差（比）

5. 太平洋赤道域の海水温等の状況、及びエルニーニョ現象等の今後の見通し

太平洋赤道域の海面水温は中部の負偏差が弱まり、東部には正偏差が見られた。エルニーニョ監視海域の海面水温は基準値に近い値だった。これらの状態は、エルニーニョ現象もラニーニャ現象も発生していないことを示している。

エルニーニョ監視海域の海面水温は、夏から秋にかけて基準値に近い値で推移すると予測される。夏から秋にかけてはエルニーニョ現象あるいはラニーニャ現象が発生する可能性は低い。



エルニーニョ監視海域の海面水温の基準値との差の推移（折れ線グラフ）と今後の予測（ボックス）

参考資料
平年の天気出現日数（日）

	8月		9月		10月	
	東北日本海側	東北太平洋側	東北日本海側	東北太平洋側	東北日本海側	東北太平洋側
晴れの日	18.1	15.8	14.3	13.2	14.8	17.6
雨の日	9.7	9.9	12.5	12.0	13.0	8.8

晴れの日、雨の日は、それぞれ「日照率40%以上の日数」、「日降水量1mm以上の日数」を用いている。